

トップメッセージ



代表取締役社長

佐野 健一

2030年のゴールに向かって、 長期経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030」を推進

北興化学工業は、化学メーカーとして1950年2月27日に創立いたしました。以来、着実に成長を遂げております。農業事業では、安全で優れた品質の農薬を製造販売し、食糧の安定供給に寄与しております。また、ファインケミカル事業では、グリニャール反応をキーテクノロジーとして、高品質のファインケミカル製品を開発し、国内外の産業活動を支えています。

当社グループは、2030年度のゴール（あるべき姿）を描き、2021年度より長期経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030」をスタートしました。持続可能な成長とサステナブルな社会の実現に向け、着実な歩みを進めています。

2022年度は、コロナ禍の継続やロシアによるウクライナ侵攻の影響など大変厳しい環境ではありましたが、売上高449億円、経常利益59億円を確保し、2022年度の目標を達成することができました。また、農業事業では、『造り方改革』への取り組みとして、北海道工場に「高効率化・省力化・環境対策」をコンセプトとした新除草剤剤工場を建設し、2022年12月の本格稼働を実現いたしました。

2023年度におきましても、「強く、豊かなHOKKO」の実現に向けた中期経営計画（1st Stage for Creation (2021～2025年度)）に沿って、『収益構造改革』『造り方改革』『働き方改革』への取り組みを推し進め、次の（2nd Stage for Advance (2026～2030年度)）の期間中には、売上高500億円を超え、経常利益50億円超の水準を確保して、あるべき姿への到達を目指してまいります。

地球温暖化対策などSDGs達成に向けた取り組みについては着実に進捗しており、2023年度は、気候変動への対応、持続可能な農業への取り組み等を推進してまいります。

当社グループでは、サステナビリティへの取り組みの一層の強化を目的として、これまでの「SDGs委員会」を発展的に改組し、「サステナビリティ委員会」を2022年12月に新設しました。今後、SDGs、レスポンシブル・ケア活動*、地球温暖化対策、カーボンニュートラルなど、サステナビリティに関する方針や取り組みについて、本委員会を中心に、一体的、体系的に協議し実践してまいります。

ステークホルダーの皆さまには、本レポートを通じて、当社グループについてご理解を深めていただくとともに、今後の活動に向け、皆さまからの忌憚のないご意見を賜ることができれば幸いです。

2023年5月

*レスポンシブル・ケア活動：化学工業界では、化学物質を扱うそれぞれの企業が化学物質の開発から製造、物流、使用、最終消費を経て廃棄に至る全ての過程において、「環境・安全・健康」を確保し、活動の成果を公表し社会との対話・コミュニケーションを行う自主活動を展開しています。この活動を「レスポンシブル・ケア (Responsible Care) 活動」と呼んでいます。本レポートでは、「レスポンシブル・ケア」を略して、「RC」と表記することもあります。

■企業理念

「社会貢献」「環境」「技術」を経営のキーワードとし、全ての人々の幸せのため、食糧の安定供給に寄与する安全で安心な農薬製品および産業活動を幅広く支えるファインケミカル製品を社会に提供していきます。

■経営の基本方針

『企業理念』の実現に向け、立案した事業計画を着実に実行することにより、持続的かつ安定的な成長を実現し、国内外の産業の発展と豊かな社会づくりに貢献します。また、取締役会を中心とした経営の自己規律のもと、中長期的な企業価値の向上を図るとともに、社会に信頼される企業であり続けます。